

なすしおばら ボランティアセンター情報誌

令和3年7月20日号

ボランティアセンター登録団体「かやの実会」 文部科学大臣表彰受賞！



「かやの実会」が、オリジナルの紙芝居づくりや長年にわたる活動などが評価され、2021年度の「子どもの読書活動優秀実践団体」として文部科学大臣表彰を受賞しました。

約40年前に西那須野公民館で読み聞かせをしていたメンバーで結成され、現在は20～75歳の男女14人で活動しています。イベントなどの際は、大型紙芝居を使用することもあり、メンバーで意見を出し合って、原作や作画、彩色など行いながら、オリジナルの大型紙芝居の作成も行っています。

毎週日曜日の午後2時から約30分間、西那須野図書館で子どもたち向けに紙芝居を行っています。会員も募集中ですので、紙芝居に興味のある人は、ぜひ西那須野図書館へ見学に来てください。



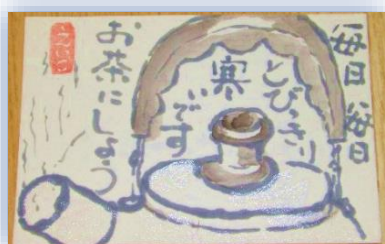
5月26日（水）、那須塩原市立西小学校の1・2年生を対象に大型紙芝居を披露しました。新型コロナウイルス感染防止策として学年ごとに読み聞かせを行い、「ここはどこ？」というオリジナルの大型紙芝居の他、1本の紙芝居を児童たちに披露しました。1年生は、初めてみる大きな紙芝居を真剣な眼差しで見っていました。月に1度の西小学校での読み聞かせは、18年以上続いています。



な ほ う かい 那 峰 会



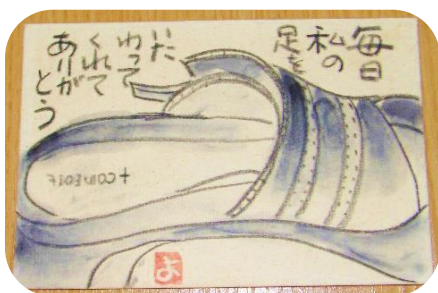
～ 季節を、、想いを、、はがきにのせて ～



▲ 春夏秋冬



▲ご利益がありそうな美しい花と神社



▲ユーモアあふれる絵手紙

那峰会は、黒磯地区の給食サービスで提供されるお弁当と一緒に利用者のもとに届ける絵手紙を描く活動を、平成14年から令和2年までの19年間続けてきましたが、その活動に幕を閉じることになりました。

多機能型事業所「心の里」で作られた紙パックをリサイクルした味のある葉書を使用し、四季折々の美しい花々、旬の野菜、果物や可愛い動物などをいきいきと描いてくださいました。その絵によって季節を感じることができ、心安らぐことができました。また、添えられた言葉によって元気づけられ、時にはクスッと笑え、絵だけでなく言葉の字体からも想いが届きました。

一枚一枚心を込めて描いてくださった絵手紙は、多くの利用者に長年喜ばれてきました。ある利用者は、「心のこもった絵手紙をもらえてうれしかった。大事に取ってあります。」と話してくださいました。

那峰会の皆さん、長年に渡り心温まる絵手紙をありがとうございました。



▲新年の絵手紙



こどもおべんとう



こども一人でも安心な配布会 

5月9日（日）、共英小学校にてお弁当の配布会が行われました。この活動は今回で3回目となります。お弁当の調理は、豊浦中町にある榊原会館で行われ、社会福祉法人京福会の職員さんと榊原会館の方がボランティアとしてお弁当を作っています。前回と同様、お弁当が100個作られ、今回は、焼肉弁当とサバの味噌煮弁当の2種類のお弁当でした。こどもが食べることを考え、主食、主菜、副菜とバランスの取れたお弁当になっています。調理ボランティアに参加された方は、「こども達に美味しい料理を提供できたらと思い参加した。」と話してくださいました。



▲調理の様子



▲焼肉弁当



▲サバの味噌煮弁当

お弁当の配布会に来られたお母さんは、「すごく助かっています。良い活動だと思います。」と話してくださいました。あっという間にお弁当が無くなり大好評でした。

こどもおべんとうを主催する「NPO 法人こどもの育ちを応援する会」代表の吉成さんは、「共英小学校区にこども食堂がなかったため、こどもが一人でも来られるように、小学校での配布を思いついた。こども達に具体的な内容が伝わるような工夫をしてチラシを作っている。」と話してくださいました。



▲寄付により集まったパンやお菓子
(お弁当とともに持ち帰り自由)



▲お弁当を受け取る様子



5月29日（土）、稲村公民館主催の「こども体験塾」に、とんぼの会の5名が参加しました。まず、開塾式へ出席し1人ずつ挨拶をしました。

この日は、「レクリエーションで仲間づくり」が活動のテーマで、とんぼの会のメンバーは、看板作りのグループ活動やレクリエーションのサポート役として入り、小学1年生～6年生までのこども達と交流しました。

稲村公民館で行われる「こども体験塾」でのボランティア活動は、公民館のご理解とご協力をいただき、これまで「とんぼの会」の先輩が多く参加し、後輩へと続いている活動です。



6月5日（土）、稲村公民館の「こども体験塾」が開催され、「体験塾ファーム」と題して、公民館の敷地内にある畑にピーマンの苗植えと花壇作りが行われました。担当職員の方から活動の内容や役割などについての説明を受け、受付や苗植え、花壇作りのサポートをし、こども達の動きを見ながら臨機応変に対応していました。



6月13日（日）、ボランティアセンター本所で今年度2回目となる定例会が行われました。ボランティア活動に参加した人からの報告や今後のボランティア活動についての説明が行われ、最後に、3グループに分かれてグループワークを行い、今年度「とんぼの会」としてどのような活動をしていくかの話し合いを行いました。各グループごとに様々な意見が上がり、これからの活動がとても楽しみです。





「なすの三線の会」ブルーベリー畑で三線練習



6月17日(木)、「なすの三線の会」

のメンバー達が、会員が所有するブルーベリー畑に集まり、ブルーベリー狩りを行いました。心配されていた天気にも恵まれ、ブルーベリー狩りには絶好の天気の中、木によって味や大きさが違うブルーベリーの味見を楽しみながら、気に入った実をカゴいっぱいになるまで摘み取りをしました。



その後、近くの木陰に移動して、三線の練習を約1時間行いました。普段は、屋内などで練習をしていますが、この日は、新型コロナウイルス感染予防対策として三密防止策を取りながら、なかなか体験できない屋外での練習を楽しみました。「次は何の曲にする?」とメンバー同士で1曲、1曲、それぞれが練習したい曲を選びながら、終始和やかな雰囲気で行われていました。また、鳥のさえずりや風がそよぐ森の中で聴く三線の音色は、



「なすの三線の会」の演奏をオンライン(Zoom)でお届けします。三線の演奏をリアルタイムで楽しみたい高齢者施設等がございましたら、ボランティアセンターへご相談ください。次号の9月20日号で、「なすの三線の会」のオンラインボランティアの様子を掲載予定ですので、お楽しみに!



「西那須野地区婦人会」烏ヶ森公園花壇整備活動

烏ヶ森公園のステージ横には、「那須塩原市西那須野地区婦人会」が管理する水仙の花壇があり、毎月1回、担当のグループ・支部が草取りなどを行っています。

この花壇は、「開墾記念祭が開催される会場でもある烏ヶ森公園をきれいにし、来場される方に喜んでほしい」という小出会長の思いから、平成26年に作られました。

6月24日(木)は、五軒町支部の皆さんが、朝8時から約1時間半作業を行い、広い花壇を慣れた手付きで草取りをしていました。この日は、お手伝いで小出会長他1名の方も参加しました。途中で「わ〜!」と声のする方を振り向くと、「蛇が出た!!」と皆が驚く場面もありましたが、「蛇が出たのは初めてだね」と笑いに変えて楽しく作業を続けていました。合間の休憩では、皆さんで水分補給をしながら「こうやって顔を合わせておしゃべりするのが楽しい」と話していました。



▲この看板が目印

大原間小学校 3 年生を対象に福祉体験授業！

「のびる会」によるアイマスク体験

6月21日（月）、「のびる会」※1の皆さんが講師を務め、大原間小学校の3年生が、アイマスク体験を行いました。感染防止策として、児童が持参したバンダナなどをアイマスク代わりに使用し、2人1組になって教室から廊下、階段の上り下りを体験しました。

「楽しかった」「怖かった」など感想は様々でしたが、アイマスク体験を通して、目の不自由な人の普段の生活の大変さや、介助する人の声かけなどの大切さに気づき、理解を深めるきっかけになったと思います。

※1 視覚障がい者へ、市広報や社協だより、議会だよりなどを音訳し、CDに録音して届ける活動をしているボランティア団体です。



「サポートみらい」による車いす体験

6月28日（月）、「サポートみらい」※2の皆さんが講師を務め、車いす体験が行われました。初めに、車いすの操作方法についての説明を行い、その後、体育館の中に設置された、坂道、段差などを想定したコースを7グループに分かれて体験してもらいました。

車いすを押すことは簡単だと思っていた児童たちも、単に押すだけではなく、乗っている人に声をかけながら車いすを押すなど、相手を思いやる気持ちが大切であるということの理解に繋がる体験になったと思います。

※2 学校や地域での福祉体験（車いす体験、高齢者疑似体験）をサポートするボランティア団体です。



社会福祉協議会では、新型コロナウイルス感染対策を施しながら、こども達に福祉体験学習の機会を提供しています。

また、「アイマスク体験」、「車いす体験」の他にも、ボランティアの皆さんのご協力をいただき、「点字体験」、「手話体験」、「高齢者疑似体験」、「知的障がい疑似体験」なども行っています。詳しくは、那須塩原市社会福祉協議会のホームページをご覧ください。ボランティアセンターまでお問い合わせください。



講習会情報

ディスコン指導者養成兼指導者フォローアップ講習会

当協会では、市民が気軽にできる生涯スポーツやレクリエーション活動の振興を図るため、ニュースポーツの普及に努め、特にシルバー世代向けにディスコンを普及しています。その普及・審判の指導者養成や指導者の技術向上のため、初心者、有資格者を対象に講習会を開催します。

《日程・内容》 8月29日(日)

◇ 9:30～10:30 講義「ディスコンの沿革、概要、投板・競技方法他」

◇ 10:30～11:30 実技「ディスコンの審判・運営方法他」

※兼ねてディスコン交流大会を開催し、その運営・審判方法を確認、習得します。

《会場》 那須塩原市「高林公民館(高林活力倍增センター)」 住所：那須塩原市箭坪347-1

《受講料》 1,000円+テキスト代700円

ただし、今まで指導者養成講習会を受講されている方は無料です。

※日本ディスコン協会インストラクター資格取得の一部単位認定をする。

《対象》 一般市民でディスコンに関心のある方やレクリエーション活動に関心のある方どなたでも。

《定員》 20名(ディスコンインストラクター資格取得希望者を優先)

※定員になり次第締め切ります。

《講師》 那須塩原市レクリエーション兼ディスコン協会の有資格者

《主催》 那須塩原市レクリエーション協会

《その他》 運動のできる服装、体育館シューズ、筆記用具を持参してください。

《申し込み・問い合わせ先》

那須塩原市レクリエーション協会 菊地 彰

TEL: 090-3474-1659

E-mail: kikuchi1343@basil.ocn.ne.jp



イベント情報

全ての子どもたちに読書の楽しみを！～わいわい文庫体験会～

発達障害や視覚障害など、様々な障害で本を読むことが困難な子どもたちのために作られた「わいわい文庫」(マルチメディアデージー)を体験してみませんか。これは、音声と一緒に、文字や画像が表示され、文字の大きさや音声のスピードを自由に変えられる電子図書です。



絵本から長いお話まで600
タイトルもあり、幼児から大人まで利用できます。
この機会に、ぜひ体験してみてください。

《開催日》 8月 1日(日) 西那須野図書館

8月 7日(土) 那須塩原市図書館 みるる

8月 8日(日) 塩原図書館

※10時～14時の間、いつでも体験できます。

《参加費》 無料(予約不要)

《主催》 アイサポート那須

《共催》 西那須野図書館・那須塩原市図書館みるる・塩原図書館

《問い合わせ先》 那須塩原市社会福祉協議会 ボランティアセンター本所 TEL: 0287-47-6700

イベント情報



「虹っ子童謡合唱団」によるリモートコンサート「虹のかけはしコンサート」が、YouTubeでライブ配信されます。ぜひ、ご覧ください！
URLはこちら↓
https://youtu.be/_3d4Zvn6slg

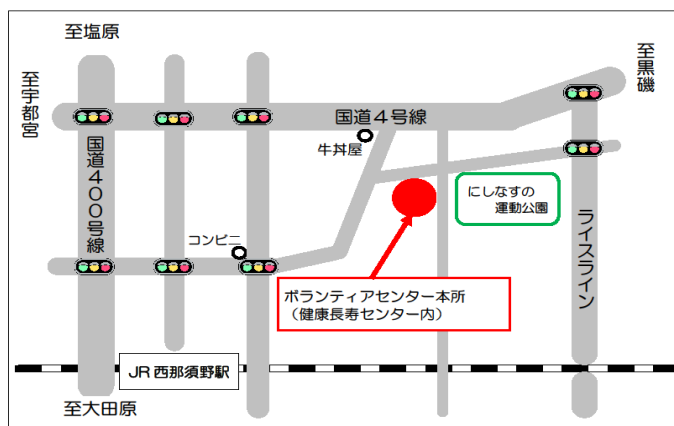


【演奏曲目】

- ・さんぽ
- ・ありがとうの花
- ・やまのワルツ
- ・いろんな木の実
- ・やさしいあの子
- ・いつかこの海を越えて
- ・にじ

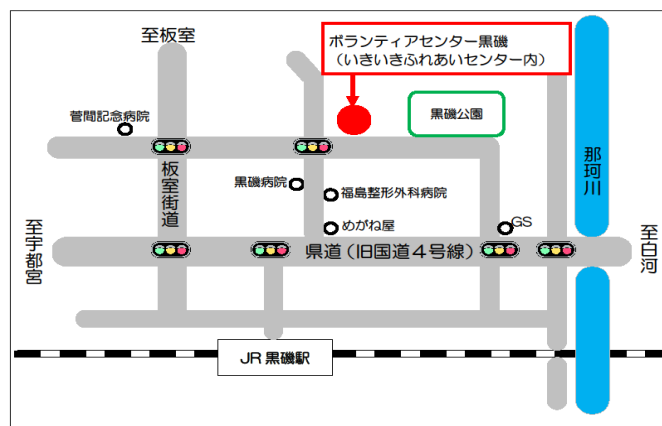


【ボランティアセンター本所】



住 所：那須塩原市南郷屋5-163
健康長寿センター内
電 話：0287-47-6700
FAX：0287-47-6690
Eメール：v.center@ns-shakyou.jp

【ボランティアセンター黒磯】



住 所：那須塩原市桜町1-5
いきいきふれあいセンター内
電 話：0287-73-0073
FAX：0287-73-0073
Eメール：k.vcenter@ns-shakyou.jp

ボランティア活動実績

5月	イベント	1件	5人	6月	イベント	1件	5人
	託児	0件	0人		託児	0件	0人
	その他	2件	9人		その他	1件	1人
	合計	3件	14人		合計	2件	6人

ボランティア登録数（6月30日現在）

団体	個人
121団体（非公開含む）	80人



発行：社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会
ボランティアセンター本所 TEL：0287-47-6700 FAX：0287-47-6690
〒329-2705 那須塩原市南郷屋5-163（健康長寿センター内）
Eメールアドレス：v.center@ns-shakyou.jp
ホームページアドレス：<http://ns-shakyou.jp/>
★メール、FAX、お電話で皆さまの感想や情報をお寄せください。



【QRコード】



▲ボランティア
センター情報誌



▲那須塩原市社協
フェイスブック